

点鼻するインフルエンザワクチン、フルミストのお知らせ

今年度より左右の鼻に1回ずつ噴霧するインフルエンザワクチン“フルミスト”の接種を数量限定で開始いたします。これは生きたインフルエンザウイルスを使った生ワクチンです。アメリカでは早くから実用化され、従来の注射型の不活化インフルエンザワクチンと同様に広く使用されています。

当院では50名分のフルミストを準備予定ですが、従来のワクチンと比較した違いをまとめましたので参考にしてください。

フルミストとは 添付文書から	
対象年齢	2～18歳
接種回数	どの年齢も1回
接種方法	両方の鼻に1回ずつ噴霧
接種できない人	妊婦、免疫抑制剤を服用中の人など
副反応	鼻水、鼻づまり、せきなど



【感染防御効果】

注射によるインフルエンザワクチンは、血液中にインフルエンザウイルスに対する免疫(IgG)を誘導しますが、“フルミスト”はインフルエンザウイルスの一般的な侵入口である鼻の粘膜にも免疫(IgA)を誘導するので、高い感染防御効果が期待されています。また従来のワクチンと同様に血液内にも免疫を成立させるので、感染してしまった場合でも重症化抑制が期待されます。しかし、これらはあくまでも予想であり、医学研究にて高い感染防御効果を立証されたものではありません。

従来の注射によるワクチンと“フルミスト”のどちらが優位かは流行するインフルエンザウイルスの種類によって変化しますので、その効果は注射によるワクチンと同等と考えてください。

【接種対象者、回数】

日本では“フルミスト”を接種できるのは、2歳～18歳までの方です。当院ではWebでのご予約が可能です。接種回数は1回です。

【ワクチン接種ができない人（当院での基準）】

- ・当日に、急性疾患にかかっている人や多量の鼻水がある人、発熱している人。
- ・卵・ゼラチン いずれかでアレルギー反応を起こしたことがある人
- ・治療のためにアスピリンを服用している人。
- ・気管支喘息既往のある人。
- ・痙攣の既往がある人。
- ・心疾患、肺疾患、肝疾患、糖尿病などの代謝性疾患、血液疾患、神経系疾患、免疫機能低下などの慢性疾患を持っている人。
- ・医療従事者で、重症者治療ユニットや悪性腫瘍治療ユニットで働いている人。
- ・免疫機能が低下した人と日常的に接する、介護者や家族など。
- ・インフルエンザワクチン接種後にギランバレー症候群を発症した経験がある人。

【フルミストの副反応】

フルミスト接種後の主な副反応は、鼻炎症状（鼻水、鼻づまり）や発熱などです。また経鼻生ワクチンのため、接種から2週間程度はインフルエンザ抗原迅速検査で『陽性』となる可能性があります。可能性は低いもののワクチンウイルスに周囲の人が感染するリスクが指摘されています。また任意接種ですので通常の医薬品での保障のみ対象となることにご注意ください。

【料金、予約】

接種料金は1回8,000円（税込）。

2024年10月2日（水曜日）18時より予約開始、10月16日（水曜日）より接種開始予定です。フルミストは火曜、水曜、金曜の10時30分、15時30分、16時15分の1日3枠で専用予約枠でのみ接種を行います。（注）発熱時にインフルエンザ罹患との鑑別が困難になる為、当院では他ワクチンと同時接種は行いませんのでご理解ください。